

資源物中間処理施設の操業状況について(令和6年10月分)

1. 容器包装プラスチック・PETボトルの搬入

種別	小平市		東大和市		武蔵村山市		合計	
	kg	台	kg	台	kg	台	kg	台
容器包装プラスチック	180,080	343	71,080	139	70,990	123	322,150	605
PETボトル	59,820	171	16,470	66	20,760	57	97,050	294
合計	239,900	514	87,550	205	91,750	180	419,200	899
1日平均	約10,430	22.3	約3,807	8.9	約3,989	7.8	約18,226	39.1

※搬入は土日を除いた 23 日間

2. ベール品・残さ等の搬出

種別	kg	台	成形率
容器包装プラスチック	276,970	34	86.0%
PETボトル	79,360	11	81.8%
可燃残さ	59,020	207	-
不燃残さ・禁忌品	1,090	10	-
合計	416,440	262	-

3. 搬出先及び資源化手法

(1) 容器包装プラスチック

搬出先(再商品化事業者)	株エコスファクトリー／埼玉工場(埼玉県)
資源化手法	マテリアルリサイクル
マテリアルリサイクルにより、廃プラスチック(容器包装プラスチック)を再資源化する企業。回収した容器包装プラスチックから異物を除去・破碎・洗浄し、粒上のペレットを製造する。ペレットは、プランターなどの園芸用品や、ごみ袋の原料として再商品化製品の利用業者に活用されている。	

(2) PETボトル

搬出先(再商品化事業者)	株エフピコ／関東エコペット工場(茨城県)
資源化手法	マテリアルリサイクル
ペットボトルからエコAPET(エコピコの環境対策透明容器)を生産する企業。回収したペットボトルから異素材品を選別後、破碎を行い、アルカリ洗浄を経て、高純度のペレットを生産する。そのペレットからシートを製造し、食品容器に生成している。エコAPETとは、ボトルto透明容器で、CO2排出量を30%削減し、環境に配慮した容器である。	

(3) 可燃残さ

衛生組合の焼却施設に運搬し、焼却処分している。

(4) 不燃残さ

衛生組合の不燃・粗大ごみ処理施設に運搬し、破碎処理している。

(5) 禁忌品

衛生組合の不燃・粗大ごみ処理施設に運搬・保管し、まとめて処分している。